

事務事業評価シート

(H.30)No.	5047	(H.29)No.	5047
-----------	------	-----------	------

事務事業名	武道交流館いきいき管理費		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	市民スポーツ室	田中 弘二	

会計区分	事業コード	507003
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 教育費	武道交流館いきいき管理費	
項 社会教育費	(小事業名)	
目 社会教育施設費	武道交流館いきいき管理費	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	4	豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち
	基本施策	2	生涯学習・生涯スポーツの推進
	施 策	2	生涯スポーツ
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
武道関係者及び一般市民の心身の鍛錬・競技力の向上や、施設を利用する市民のスポーツ活動を通じて、利用者相互のコミュニティの醸成を図り、スポーツ振興に寄与します。合わせて、生涯学習の活動拠点としての役割を果たします。

事業内容

名張市武道交流館いきいきの施設維持管理にかかる費用。指定管理制度による指定管理料。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)	H.30年度(事業量・取組計画)	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)	H.33年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	指定管理委託料 11,167千円 修繕料 300千円 使用料及び賃借料 98千円	指定管理委託料 11,396千円 修繕料 1,600千円 使用料及び賃借料 98千円	指定管理委託料 11,206千円 修繕料 300千円 使用料及び賃借料 98千円	指定管理委託料 11,039千円 修繕料 300千円 使用料及び賃借料 98千円	指定管理委託料 11,206千円 修繕料 300千円 使用料及び賃借料 98千円

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		11,565千円		13,094千円	11,604千円	11,437千円	11,604千円
内訳 (千円)	国・県支出金						
	地方債						
	その他()		64		64	64	64
	一般財源	0	11,501	0	13,030	11,540	11,373
人工数	職員		0.35人		0.20人	0.20人	0.20人
	臨時職員等		0.10人				
②概算人件費	0千円	2,770千円	0千円	1,480千円	1,480千円	1,480千円	1,480千円
①+②総事業費	0千円	14,335千円	0千円	14,574千円	13,084千円	12,917千円	13,084千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)

平成29年度利用実績は利用件数5,890件、利用者数117,293人と、件数でほぼ横ばい、人数で8.6%の増加という結果でした。一方で、築後12年が経過し、施設及び設備の老朽化も見られるようになり、計画的な施設・設備の整備が必要となっています。武道館・交流館合わせて年間10万人を超える利用者があり、生涯スポーツの活動拠点として貢献できました。武道館運営協議会を関係団体で構成し、委員からの意見を参考に運営しています。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
---	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)

年間利用者が10万人を超えるなど、施設の有効活用が図られる中、築後12年が経過し、施設の老朽化による補修・修繕が発生することが想定されるため、日常管理点検を徹底するなど、指定管理者との情報共有を密に図りながら適切に対応していきます。指定管理者独自の発想により、武道フェスタの開催や新規教室などの事業を展開いただいていることから、引き続き指定管理者との連携を十分に図りながら、効果的な運営を行います。

6. 事務事業の取組に関する市の計画

名張市スポーツ推進計画